

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	地域における市場メカニズムを活用した低炭素化推進事業		担当部署	地球環境局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～平成26年度		担当課室	地球温暖化対策課市場メカニズム室		室長 角倉 一郎			
会計区分	エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)		施策名	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第80条第2項1号ハ 特別会計に関する法律施行令第50条第7項第8号		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	市民を巻き込んだ温暖化対策の充実や、東日本大震災を契機とした電力需給逼迫への対応のため、市場メカニズムを活用し、温室効果ガス削減効果に応じて経済的インセンティブを付与するといった取組を地域ぐるみで行うものについて、実施体制の構築・効果検証等を支援し、各地に普及できるよう取組手法の確立を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	市場メカニズムを活用して地域ぐるみの排出削減の取組を行う事業について、実施細則の策定、参加事業者等の募集等事業の立ち上げ・大幅拡充に必要な費用や削減効果の確認等に要する費用について支援する。また、各地域における市場メカニズムを活用した取組に必要な排出量・排出削減量管理システム等の構築を行う。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	-	-	188	500		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-	-		
		計	-	-	-	188	500		
	執行額		-	-	-	-	-		
執行率(%)		-	-	-	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)	
	成果目標:各地域が当初約束していたCO2排出削減量		成果実績	t-CO2	-	-	-	28,000	
	成果実績:各地域が実際に達成した排出削減量		達成度	%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	参加地域数		活動実績 (当初見込み)	地域	-	-	-	-	
					(-)	(-)	(10地域)		
単位当たりコスト	5,820(円/t-CO2)		算出根拠	モデル事業費(円)÷CO2削減目標量(t-CO2/年) 162,963,000(円)÷28,000(t-CO2/年) =5,820(円/t-CO2)					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	二酸化炭素排出抑制対策事業等委託費	188	500	・1件当たり15百万円のモデル事業を10地域(平成24年度)から15地域(平成25年度)に増やすため。 ・各地域における市場メカニズムを活用した取組に必要な排出量、排出削減量等の管理を支援するため、平成24年度事業において策定する仕様書に基づき、地域を越えた連携のための共通的な基盤の構築を行うため。					
計	188	500							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	地域において温暖化対策等に取り組む者(地方公共団体担当者等)にヒアリングを実施しており、極めて必要性の高いモデル事業であることが分かっている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	費用対効果の高いものから採択し、モデル事業として実施するとともに、各事業の課題や成果等を共有し、有効な対策・施策を抽出・取りまとめ取組手法・評価手法等を確立することで、費用効率性を高めつつ、確実なCO2削減が見込める。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	<p>■目的・予算の状況： 本事業については、地域において温暖化対策等に取り組む者(地方公共団体担当者等)にヒアリングを実施しており、極めて必要性の高いモデル事業であることが分かっている。 また、東日本大震災以降の電力供給の逼迫状況を考慮すると優先度の高い事業である。</p> <p>■資金の流れ、費目・使途： 本事業は、地域において幅広い主体が参画する協議会が行う事業について、事業の実施細則の策定、参加事業者等の募集や運営手続、削減効果の確認等に要する費用について支援を行い、効率的な枠組みの構築を支援するもの。 費用対効果の高いものから採択し、モデル事業として実施するとともに、各事業の課題や成果等を共有し、有効的な対策・施策を抽出・取りまとめ取組手法・評価手法等を確立することで、費用効率性を高めつつ、確実なCO2削減が見込める。</p>
	—		
予算監視・効率化チームの所見			
		事業の有益性から要求を認めるが、必要最低限度の要求額となるよう精査すること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		—	
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新24-043

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					